

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	アーカスプロジェクト参画事業	担当課	生涯学習課	
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	平成 7年度～
	施策	生涯学習の推進	種別	任意の事務
	基本事業	親しみを感じる芸術・文化の推進	市民協働	実行委員会
予算科目コード	01-100401-02 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>地域活性化を目的に、県事業の「国際芸術文化交流拠点整備構想（アーカス構想）」を誘致し、平成6年度の試行を経て、平成7年度から「アーカス構想パイロット事業」、平成12年度から現在の「アーカスプロジェクト」がスタートした。</p>	<p>市は負担金を支出し、もりや学びの里の施設を提供して、県、市、関係機関からなる実行委員会(事務局：県)によるアーカスプロジェクトの運営により、アーティストの招へい及び制作支援、活動発表会(レジデンスプログラム)や、一般向け、子ども向けアートイベント(地域プログラム)を開催する。 また、市内イベント活動等の運営や事業広報活動を支援する。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>県主催のアーカスプロジェクトに参画することにより、市民に芸術文化活動の体験機会を提供するとともに、地域の文化活動の推進と市のイメージアップを図る。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>芸術・文化・歴史に関する活動に触れる機会・場を提供し、市民が芸術や文化を気軽に親しめるようにする。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>本事業は、世界的に有名になり毎年多くの国から、多くのアーティストの応募があり、有名芸術家への登竜門的な存在になっている。しかし、市民の認知度は低いため、市としては積極的な市民向けプログラム等の実施について働きかける必要がある。</p>	<p>通年：守谷市のHPにバナーを設置 必要に応じて、県・市・事務局でのミーティングを行う</p> <p>4月～8月：招へいアーティスト募集・選考 2月～3月：オープスタジオ（オンライン）</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>広報活動の幅を広げる。 守谷市民とりわけ児童がアートに触れる機会やイベントの企画について働きかける。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<p><input type="checkbox"/>増加 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>削減</p>	<p>特に地域プログラム等で、より多くの守谷市民（特に子ども達）がアートを体験できる機会を設けたり、アーティストの作品展示を企画するなど守谷市にとって有意義な取組を実施していくことができれば増加も見込まれる。</p>

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度を取組（評価、課題への対応）
<p>海外から若手アーティストを招へいし、創作活動を支援する「アーティスト・イン・レジデンス」では、3組のアーティスト（出身地：ラトビア、アルバニア・台湾、日本）を招へいし、オンライン等による制作活動が配信された。</p> <p>地域プログラムでは、参加者の想像力と思考力を育むため、例年開催しているアーティストによるワークショップシリーズ（ヒビノホスピタルvol.76）に加えて、市指定文化財（赤法花一里塚）周辺を歩き、「歩くこと」に対する考えの変化を共有する新たなワークショップを開催した。</p>	<p>海外から若手アーティストを招へいし、創作活動を支援する「アーティスト・イン・レジデンス」では、昨年度から活動を継続している3組のアーティスト（出身地：ラトビア、アルバニア・台湾、日本）に加え、オランダ出身のアーティスト1組を招へいし、オンライン等による制作活動を配信した。</p> <p>地域プログラムでは、もりや学びの里内に設置されたアーティストの作品（彫刻）が13年ぶりにアップデートされ、アーティスト自身によるガイドツアーが行われたほか、参加者の想像力と思考力を育むため、例年開催しているワークショップシリーズ（ヒビノホスピタルvol.77）を行った。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
事業参加者数（人）	1,799.00	2,879.00	9,013.00	1,515.00	1,010.00	3,561.00	2,200.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインで開催したオープンスタジオの視聴が多かったことにより、事業全体の参加者数が増加した。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	次年度も新たな海外アーティストを招へいするほか、新たに短期滞在型のレジデンスプログラムのスタートを予定している。「アーカスプロジェクト」の認知度アップのため、地域プログラムの充実に努め、市内小学生を対象に、鑑賞教育やワークショップなど新規プログラムの実施を検討する。					

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	4,500	4,500	4,275	4,275	4,275
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,500	4,500	4,275	4,275	4,275
正職員人工数（時間数）		101.00	10.00	142.00	0.00	0.00
正職員人件費		414	40	549	0	0
トータルコスト		4,914	4,540	4,824	4,275	4,275

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	芸術文化振興事業	担当課	生涯学習課	
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	昭和52年度～
	施策	生涯学習の推進	種別	任意の事務
	基本事業	親しみを感じる芸術・文化の推進	市民協働	補助事業
予算科目コード	01-100401-07 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>市民が行う芸術文化活動の自主性・創造性を尊重し、その活動を促進するとともに、相互の連携・協力の機会提供を通して、担い手の育成及び市における総合的な芸術文化振興の推進を目指して開始した。※令和3年度から予算を組替え、「夕べのコンサート事業」「芸術祭事業」「守谷市美術作家展事業」「文化協会補助事業」を当該事業に統合</p>	<p>1 もりやNATSUのコンサート 8月に市内で活動する音楽サークルによるコンサートを開催する。中央公民館ホールの音響・照明等の設備を活用して開催する。</p> <p>2 守谷市芸術祭 11月に中央公民館を主会場に、市文化協会との共催による美術展、生花展、若い芽のコンサート、ふれあい茶会、芸能祭を開催する。</p> <p>3 守谷市美術作家展 市民交流プラザギャラリーを会場に、市内で活動し、多くの美術展で入賞・入選されている美術作家の展覧会を開催し、芸術鑑賞の機会を提供する。</p> <p>4 市文化協会の活動支援 芸術文化活動を通して、市の発展と市民の文化交流に努める市文化協会の活動を支援する。 (守谷市芸術祭のほか、講座・教室、コンサート等開催予定。団体数：80団体、会員数：約550名)</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>市民やサークル・団体等に芸術文化活動の発表の機会を提供するとともに、昭和52年に設立された「市文化協会」に対する補助事業を通して、市民が身近に芸術文化に触れることができる環境の充実を図る。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>市民が、生涯学習に自発的に参加できるよう、学習できる機会・場の提供に努める。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>新型コロナウイルス感染症の影響から、結果的に開催ができなかった事業があるが、全体的に出演団体や出展者が固定化している。市文化協会が主体的に運営できる環境を作り、市民目線で行事・イベントを開催する必要がある。</p>	<p>5-6月 守谷市美術展開催（市文化協会主催）</p> <p>8月中旬 もりやNATSUのコンサート開催（公民館主催）</p> <p>11月 守谷市芸術祭開催</p> <p>R5.2月 守谷市美術作家展開催</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>「守谷市美術作家展」を市文化協会主催にし、芸術祭と統合したり、若い世代の作品を公募できる仕組みを作るなど、協会及び関係機関と協議する。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<p><input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減</p>	<p>夕べのコンサート事業、芸術祭事業、守谷市美術作家展事業、文化協会補助事業を統合し、総合的な芸術文化振興の推進を目指す。 市文化協会の中央公民館ホールを活用したコンサート、映画会等の開催を支援するため、舞台操作にかかる人件費相当分を補助金に増額計上する。</p>

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度 of 取組（評価、課題への対応）
新型コロナウイルス感染症の影響により、芸術祭期間中実施の美術展を除き、イベントが中止となった。	市文化協会との共催事業である「芸術祭」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、美術展、若い芽のコンサート（オンライン）、華道部展、芸能祭を開催し、出展者及び出演者の学習意欲の高揚を図ることができた。 「守谷市美術作家展」は、2年ぶりの開催となり、市民に質の高い作品鑑賞の場を提供した。 「もりやNATSUのコンサート」は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
来場者数（人）	11,490.00	7,514.00	10,232.00	105,480.00	213.00	1,182.00	11,650.00
文化協会実施事業数（共催事業を除く）（回）	12.00	12.00	12.00	12.00	8.00	17.00	12.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	新型コロナウイルス感染症の状況に応じた展覧会等が開催できたため、前年度と比較すると、来場者数、実施事業数ともに増加した。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	市民が日常的に質の高い芸術・文化に触れることができるよう、公民館指定管理者や市文化協会が実施する音楽コンサート、映画会、文化的なテーマによる講演会等の開催を支援し、積極的な情報発信を図る。 市文化協会の新たな取組や継続事業の見直し・改善について共有し、組織力の強化・向上を支援する。 中央公民館ホールを活用して開催するコンサート等のチケット受け渡しを代行したり、事業PRを行う					

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	2,482	1,052	1,993	2,532	2,532
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,482	1,052	1,993	2,532	2,532
正職員人工数（時間数）		498.00	801.00	798.00	0.00	0.00
正職員人件費		2,043	3,242	3,087	0	0
トータルコスト		4,525	4,294	5,080	2,532	2,532